

ICP2016会場・展示委員会から

ずっと使ってください

国際会議に参加すると受付カウンターで渡されるコンgres・バッグ、皆さんは、どこにどのように保存しているのでしょうか。

- 良いのだけ選んで書類入れにしています。
- いくつもあると置き場所に困るから、ドンドン捨てています。
- 便利なものもありますよ。横のポケットに、ペットボトルや傘など入れて、それに、コンピュータも入るし、重宝しています。
- 色が問題じゃないですか。変な色は持ち歩きたくないしね。
- 登録費50,000円も払うのに、バッグも無いなんて。記念にほしいですよ。
- いや、それに使うお金を他に回したほうがよいでしょう。
- 最近の傾向としては、簡単なエコバッグになっていませんか？

私は、2016年の国際心理学会議のためにつくられるコンgres・バッグです。

会場・展示委員会が中心となって考えています。最近の会議のバッグをいくつも並べ、手に持ち肩にかけ、意見を聞き、何度か店舗にも通い、形と材質はほぼ決まったようですが、色がむずかしいですね。誰にでも合うようにと苦労しているようです。好きな色はそれぞれ異なりますから。目立つほうがよいですか？ 淡い色がよいですか？ さあ、何色に決まるのでしょうか。

頑張ります。ICP2016のロゴがつかますよ。若い方には各国の研究者と会えて発展の年になったことを思い出すバッグとして、中年以上にはリ・ユニオンの年になった懐かしさと満足感の入ったバッグとして……この会議の記念としてずっともっていたい、そんなコンgres・バッグに私はなりたいのです。

(ICP2016会場・展示委員会委員長 野口京子)

日本心理学会 若手の会から

第79回大会での活動報告

一昨年度の大会で発足し、昨年度の大会から本格的に活動を始めた「若手の会」ですが、今年度の大会では三つの企画を実施しました。

一つ目は、学会前日に開かれる会員集会への参加です。会員集会には、特に若手はあまり参加した経験の無い人が多いと思いますが、昨年度から若手も集まって交流できるように、積極的な参加を呼びかけています。今年度は新たに「若手の会」と書いた目立つリボンを名札に付けました。この集会で初めて顔を合わせた会員がいたり、先生方からも「若手の会のメンバーだね！」と話しかけてもらえたりして、会員同士や先輩方との交流を深める機会を持ってました。

二つ目は、若手の会主催の企画シンポジウムです。「広がる心理学 — 学際性の先端領域と新しいキャリア形成の枠組み — 」と題して、サトウタツヤ先生、蒲池みゆき先生、澤井大樹先生、若手の会の高瀬堅吉さんに話題提供を頂きました。心理学が持つ学際性という特徴と、

若手が関心のあるキャリア形成について多様な分野・立場からのお話を頂き、もっと頑張っていこう！と大きな勇気と活力を頂きました。

三つ目は、ラウンドテーブル・ディスカッションです。シンポジウム直後のお昼休みの時間帯に開催することで、シンポジウム登壇者の先生方にもご参加頂きました。距離も近く、カジュアルな雰囲気の中、名古屋名物てんむすのお弁当を食べながら、シンポジウムのテーマに限らず本音を交えた議論が弾みました。

大会企画が無事に終わり、運営委員一同ほっと一息といったところですが、今年からは新たに合宿研究会も開催する予定です。詳細は、若手の会メーリングリストやホームページに掲載します。また会員向けに、上記大会シンポジウムの発表資料等も公開する予定です。会への参加方法は、<http://www.psych.or.jp/jpamember/wakate.html>をご覧ください。まだまだ駆け出しの若手の会ですので、若手の皆さん、ぜひ一緒に会を盛り上げていきましょう！

(若手の会共同世話人 小川健二・鈴木華子)